

「通過型から滞留型の商店街へ」

盛岡駅前商店街の歴史

盛岡駅前商店街振興組合は、昭和49年に当時の国鉄盛岡駅から開運橋までの県道2号盛岡停車場線沿いを中心に盛岡駅東口を取り囲むように並ぶ商店が集まって設立した組合で、現在59店舗が加盟しています。

明治23年の東北本線盛岡駅開業により形作られた商店街はその後鉄道をはじめとした交通網の発達や盛岡市の発展に伴う盛岡駅のターミナル機能の拡充により、駅の利用客の増加とともに発展してきました。昭和57年には、東北新幹線開通を機に歩道の電線地中化や融雪機能を備えたカラー舗装を行い近代化が進みました。

その後、マリオス、アイーナなど駅周辺の再開発もあり、オフィスビルやホテル、マンションなどのビルが立ち並び、最近では各種全国大会への参加者や観光客をはじめとした県外客、そして通勤・通学客に加え、駅前に勤務する

サラリーマンや専門学校生、マンションの住民も増加しています。

きれいな商店街づくり

このように、駅の発展と共に歩んできた商店街で、私は平成21年に5代目理事長に就任いたしました。

しかしながら、就任当時の商店街は、地区周辺が発展する一方で地元の商店、なかでも小売店舗の減少が続いており、商店街としての活動もしほみがちな状況にありました。

そこで、商店街を活性化させるため、まずは岩手の玄関口である駅前の街中をきれいにしようと、清掃活動をはじめました。

盛岡駅前商店街の特徴のひとつに飲食店が多いことが挙げられますが、夜遅くまでの営業など、繁華街でどうしても雑多でごみが出やすい、というイメージがあり、そんなイメージを一掃する心意気で取り組みました。現在では、JR盛岡駅、フェザンをはじめ地域



盛岡駅前商店街振興組合
理事長

石田 和徳

の組合員以外の方々からも賛同いただき、連携して毎週月曜日に、ゴミ拾い、草取り、剪定、花植えなどテーマを決めて実施しているほか、春と秋には市内から150人ほどの方々が参加し大掃除を実施しています。路地裏の隅々まできれいにして、お客様に気持ち良く商店街を歩いていただける環境が整ったと思っております。

魅力のある商店街づくり

そして、もうひとつの大きな課題は、いかにして通勤、通学で駅前を行き交う人たちに商店に立ち寄ってもらうか、ということでした。

そこで取り組んだのが、まずはお客様を笑顔で迎え入れるための「スマイルコンテスト」の実施です。商店街で働く従業員の方を対象に毎回「キング・オブ・スマイル」「クイーン・オブ・スマイル」を選出し、笑顔のあふれる商店街を目指しました。

また、各商店を知ってもらうため、各店お

薦めの1000円商品を販売する「1000円商店街」を開催し、多くの方々を足を止められ、お目当ての商品をお買い求めいただいております。

そのほか、盛岡駅前を象徴する開運橋の縁起の良さを商店街で感じていただくようと、500円以上の会計時に運試しの「開運カード」を発行し、大吉が出たなら1000円のお買物券としてご利用いただく取り組みもはじめました。

さらには、商店街オリジナルキャラクター「開運かなえちゃん・開運たまえちゃん」を広告塔にして、お客様がいつ、何度いらしても楽しい親しみのある商店街づくりに努めています。

「地産地消」の推進 宿泊者をターゲットに

盛岡駅前を歩き交う人たちはまだいます。観光やビジネスで盛岡を訪れ、宿泊する方々です。駅前再開発などにより、ここ20年で多くのホテルが建設され、現在、盛岡駅前だけで1600室ほどの客室があります。稼働率とベッド数を考慮すると、約1600人が毎日、この駅前に宿泊していることがわかりました。

そこで、何とかしてこの宿泊客を商店街の顧客として取り込み、駅前の商店街を通過しホテルに宿泊するだけでなく、宿泊して店に立ち寄り駅前に長く滞在してもらえよう

にしようとして取り組んだのが、「地産地消認定制度」の実施です。

飲食店が多い商店街の特色を活かし、各店の自慢のメニューに地元産の食材を利用し提供しようとする試みですが、単なる地元料理の提供や各店の独りよがりとなることも懸念されましたので、市や商工会議所などの外部の方にも入ってもらい、「盛岡駅前地産地消認定委員会」を立ち上げました。

認定基準を定め、①岩手県産の材料を10種類以上使っていること、②岩手県産の材料を使ったメニューが10種類以上あること、③岩手県産の飲み物が10種類以上あること、の3つをクリアした店舗に認定証を交付することとし、認定店舗（現在8店舗）では、認定証を店の内外に飾り商店街としてのPRを行っています。



盛岡駅前商店街オリジナルキャラクター
開運かなえちゃん（左）と開運たまえちゃん

この地産地消の推進は、宿泊客に限らず、地区内のマンションの住民の方々をはじめとする地元の皆様方にも地産地消を実感してもらいたいという思いで立ち上げましたが、8店舗ともに売り上げが3〜8%増加しております。

地域との連携の輪を広げて

そのほかにも、震災復興に向けた「ご当地キャラまつり」や「盛岡駅前コンシエルジェ事業」、岩手国体での「国体開運ビジョン」のほか、「開運カルチャー教室」「屋台村」「のみ歩き」「酒ゼミ」「イルミネーション点灯」など、様々な取組みを行ってきましたが、これらの取組みが認められ、本年3月、中小企業庁が主催する「はばたく商店街30選2017」に選ばれました。

そこでこれを記念し、またご協力いただいている地域の皆さまへの感謝の気持ちを込め、6月28日から8月30日までの毎週水曜日に、駅前を流れる北上川の河原から花火を打ち上げ、夏の夜を楽しんでいただきました。

当商店街の強みは、はじめにお話した清掃活動など、周りの多くの方々のご協力をいただく、連携の輪にあると感じています。

最近では地域の学生の方々が商店街マップの作成に携わるなど、新たな連携も生まれており、このような強みをさらに活かすためにも、会員一同、今後も商店街の更なる活性化に向け活動を続けてまいります。